シグナス新聞

鳥取看護大学
鳥取短期大学
新聞会
倉吉市福庭854
電話(0858)26-1811

ご卒業・ご修了おめでとうございます。とりたんを巣立たれる先輩方に、先生・職員をはじめとした皆さんからのメッセージをお届けします。

働くが傍楽になるとき

理事長
山田修平

社会人だね。学生時代との一番の違いは働くことが、生きる真ん中にあること。自分の力で生活の糧を得る。それはとても大切なこと。でも、それだけではない。働くことで人は成長し、自分らしく生き生きと生きることができる。またそうした働き方をしたい。さらに真に喜びを感じるのは、他の役に立っていると感じるとき。働くとは人が動くと書く。「傍が楽」になるよう人が動く。そのように感じたら、人生は素敵だよ。

充実した人生を！

コツコツを大切に

鳥取看護大学学長
近田敬子

卒業おめでとうございます。私は、授業等での直接的な関わりはありませんでしたが、通りすがりに笑顔で「おはようございます！」「こんにちは！」と挨拶をしてくださると、いつも心地良い気分になりました。皆様は、無意識の挨拶習慣の一環かも知れませんが、相手に好印象を与えていることを忘れないでください。また、これからは大きな夢を抱きながらも、コツコツと目の前のことに取り組み、歩んでください。そうすれば、成長は確かなものとなり、素敵な社会人になれるはずです。繰り返しになりますが、このコツコツという姿勢が成長の秘訣になることを、覚えておいてください。期待しています。

「あたり前」を着実に

鳥取短期大学学長
松本典子

みなさん、卒業おめでとうございます。

いよいよ社会に大きな一歩を踏み出しました。さあ、蓄えてきたエネルギーを糧に、夢に向かって大きく歩みを進めてください。

特別なことではなく、挨拶に始まる言葉遣い、身だしなみ、時間や期限を守るといったいわゆる「あたり前」のことが、案外にそのための確かな力になります。一つ一つをしっかりと自分のものにして大いに羽ばたいてください。

健康と健闘を祈ります。

「急がば回れ」

事務局長
髙木新一

ご卒業・修了おめでとうございます。私からは、「急がば回れ」の言葉を贈ります。この言葉は「指南書」という落語の中に出てきます。興味があれば検索してください。

この「急がば回れ」は分かり易く言えば、急ぐときほどこそ、危ない近道をせず、たとえ、回り道となっても安全な道を選びなさいということです。

皆さん、人生は長いですよ、何も慌てることはありません。ゆっくり生きましょう。

これからも人間関係を大切に

教務部長
河村壮一郎

ご卒業・修了おめでとうございます。本学の教育のポリシーの一つに人間関係を大切にすることがあります。みなさんはクラスやサークルなどで友人関係を自発的に発展する機会があったと思います。これからは職場や地域社会で新たな人間関係を築くことになります。孤立しては満足した社会生活を送ることは困難でしょう。その際には自分から話しかける、向き合おうとする姿勢が大切です。年齢や立場の異なる人とも柔軟に関わる中で得られることは多いです。

より良い自分をめざす

入試広報副部長
岡野幸夫

卒業、修了おめでとうございます。実社会では、思い通りにいかないことがたくさんあります。でも、それを前向きに捉えることが、人生を充実させる大事なポイントだと思います。「人生に無意味はない」と考えて努力するうちに、昔は見えなかった別の世界が見えてきます。「今の自分」の見方、考え方がすべてではなく、自分も成長するのです。

つまり、どんな仕事をするかではなく、自分がその仕事とどう向き合うかが大事になります。より良い自分をめざしましょう！

考え、決断し、やり遂げる人に

キャリア支援部部長
野津伸治

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。

皆さんは、今まで積み上げてこられた学業や就職活動を成し遂げられ、社会に旅立って行かれます。

そこでは様々な人々やできごとに遭遇すると思います。

そのとき、とても厳しい状況もあるかもしれませんが、自分自身で考え、周りの方の意見も聞き、でも最終的には自分で決断をして、その状況に正面から向き合い、やり遂げる人になってください。

その力を地域社会で

地域交流センター長
白石由美子

今年もまた、花の三月になりました。ご卒業おめでとう。神様が私に、「人生のどんな時代にでも元に戻してあげる」と言われたら、私はためらうことなく、「大学卒業の頃」と答えるでしょう。

今のあなた方は気が付かないかもしれない。今がどんな素敵な時代なのか。自分の力と意志で何でもできる。変えることも、持続することも可能です。

大学で得た力を地域社会で大いに発揮して活躍をしてください。

自信を持って飛び立とう

国際文化交流学科
大江節子

ご卒業、修了おめでとうございます。長かったような短かったような「学ぶ」を中心の生活を終えて、四月からは「働く」を中心の生活が始まります。ここからは、あなた方の創意工夫が大事になってきますが、心配することはありません。これまでの「学ぶ」生活は基礎を身に付けるものだったのですから、これを基に、自信を持って自分で考え行動してみることです。その一つひとつの積み重ね・努力が、さらに大きな自信と成果を齎すに違いありません。

さらなる成長を祈る

情報・経営専攻
岩井和由

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。

多くの皆さんはここで学びの期間が終わったことと思います。しかしこれはただ学校という場での学びが終わったことに過ぎません。これからも社会の中で様々なことを学び続け成長していくことと思います。そのために今までの学びをいかし、あなた方の生きていく基本、軸をしっかりと作ってください。一本芯の通った大人となることを祈っています。

自信と誇りをもって

住居・デザイン専攻
倉恒俊一

卒業生、修了生のみなさんご卒業おめでとうございます。今、皆さんの入学式当時の姿を思い出しています。四月からは社会人として、あるいは進学と新たな一歩を踏み出します。

これからは各自、責任を持った行動が大切ですし、鳥取短期大学卒という肩書も背負っています。言い換えれば皆さんは鳥取短期大学の広告塔の役目もあります。このことを忘れずに職業人のプロとして、自信と誇りをもって日々の任事に励んでくださることを心から願っています。

挨拶を心掛けて

食物栄養専攻
亀崎幸子

ご卒業おめでとうございます。この二年間はアッという間の二年間ではなかったですか。いよいよ社会人ですね。職場では短大生活で身についた「挨拶」の習慣は続けてください。初めてのことばかりで戸惑ったり、間違ったりすることも多いと思いますが、笑顔を忘れず、なるべく言い訳は控え、素直に「すみません」と謝ることも心掛けてください。

心をこめて

幼児教育保育学科
羽根田真弓

ご卒業おめでとうございます。

みなさまの輝かしいご卒業の日にこの詩をおくります。そして、みなさんのご活躍をお祈りします。

人に
花はいろ
そしてにおい
あなたはこころ
そしてやさしさ

堀口大學